

— ふれあいと支えあいのある

心豊かな福祉社会をめざして—

第2回横芝町社会福祉大会

町と横芝町社会福祉協議会の共催による横芝町社会福祉大会が5月17日、町文化会館を会場に開かれました。

今回で2回目となるこの大会は、進みゆく高齢化社会に伴い今後、行政と福祉関係機関が一体となって福祉サービスの充実と発展を誓い合うため開かれたもので、参加機関は身体障害者福祉会や母子寡婦福祉会など16団体。式典では、主催者あいさつに続き、福祉のために尽力された方々と標語入賞者に感謝状や表彰状などが贈られました。続いて山武支庁長などの来賓から祝辞があり、町議会議長は「社会福祉は豊かな地域社会づくりの基礎であり、町議会でも今後とも支援をしていきたい」と社会福祉の重要性を述べていました。最後に高橋理事が、ふれあいと支えあいのある心豊かな福祉社会を目指して、大会宣言を讀み上げ、参加した250名は、明るく住みよい地域社会を築くため、一層努力することを誓い合いました。



自分の作った標語を発表する子どもたち

成人病の予防

式典終了後におこなわれた講演では、吉田クリニック（成東町）院長の吉田繁夫先生が「成人病の予防—長寿を健康でまっとうするために」と題し、現代人のかかりやすい病気や、家庭でできる病気対策について、スライドを使いながら、わかりやすく説明してくれました。



今後は、核家族化や少子化な

どに伴う家族の扶養能力の低下が進む一方で、介護を要する高齢者はますます増加することが予想されています。これからは、若い人や子どもたちに福祉活動

の重要性を理解してもらおうことが大切であり、この大会でも各小中学生から標語を募集しました。ここに入賞された作品をご紹介します。

- おもいやり みんなしあわせ げんきです 大総小2年 かつまたゆかり
- やさしさを みんなでひろげ うれしいな 大総小3年 伊藤 香織
- ほくにでも 何か出来るぞ 見付けよう 大総小6年 五木田 和
- 春の町 こんにちはの はな いっぱい 横芝小2年 さとう ゆきな
- ほほえめば ほほえみかえす 人と人 横芝小4年 及川 望美
- やさしい心 一人一人の 思いやり 横芝小6年 渡邊 美沙
- ともだちはいいやつだ たすけあったり たすけたり 上堺小2年 かせ ゆき
- おとしりに 「はいどうぞ」とせきゆずろうね 上堺小3年 平山 あつこ
- ふやそうよ みんなが幸せ 楽しい町 上堺小5年 伊藤 由美
- 誰にでも 君にもあるよ 思いやり 横芝中1年 伊藤 有希
- 病む体 なおす妙薬 家族の愛 横芝中1年 大木 良治
- 笑顔での あなたの一言 心のささえ 横芝中2年 藤原 京子
- 手をつなぎ 心豊かな 町づくり 横芝中2年 多田 綾子
- 明日への 希望のかけ橋 みんなで渡ろう 横芝中3年 鈴木 一代
- 死ぬ勇氣 生きてく勇氣に 使おうよ 横芝中3年 藤代 香寿美